

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1270800814		
法人名	株式会社 安養介護サービス		
事業所名	グループホームあんよう荘		
所在地	千葉県市川市南大野2丁目30番17号		
自己評価作成日	平成25年1月7日	評価結果市町村受理日	平成25年4月16日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人ヒューマン・ネットワーク		
所在地	千葉県船橋市丸山2-10-15		
訪問調査日	平成25年2月19日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な環境のもとで、日常生活の支援及び心身の機能訓練を行う事により個々の入居者様が有する能力に応じ、 possible の限り自立して生活を営むことが出来る様、又、当ホームでの生活を継続出来る様に適切なサービスを提供いたします。ホーム内は家庭的な明るい雰囲気作りをしており、入居者様が人間としての尊厳を失わず明るく楽しく幸せに余生を過ごせるホームの実現を目指しており、特に残存機能自立支援を兼ねた大型貼り絵(市川市明青展に毎年出展)や布製の人形の共同制作は入居者様にとっても楽しみであると同時に恒例行事にもなっており、当ホームの大きな特長となっております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「入居者の個人を尊重し、生活の主体者として、安らぎと安心感の持てる生活・地域の一員として、自信を持って生きていけるよう支援します…」等、9項目の理念を掲げている。入居者と職員が共同生活を自然に行うなかで、生活全般をリハビリと捉え、行過ぎた介護ではなく、介護主任を中心として職員がチームワーク良く、個別の自立支援をごく当たり前に行うようケアに当たっている。入居者が共同制作した大型貼り絵や布製人形を市の展示会に出品したり、公民館の催し物に積極的に参加して地域との交流を図っている。消防が2・3分の所にあり、なおかつ警備会社と契約する等緊急時対応にも万全を尽くしている。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所や各フロアーに提示し、また、毎月のリーダーミーティングや、職員のミーティングを通して理念を共有して実践しております。	箇条書きに判り易い言葉で書かれた9項目の理念を目につきやすいところに掲示している。毎月のミーティングで理念の共有を図り、「こころ」に安らぎ、もう一つの「我が家」として生活して頂けるよう、特に生活リハビリにも力を入れた支援に努めている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会のクリーン作戦や地域交流会に参加をしております。	自治会に加入し今回3回目の班長として地域のクリーン作戦などの活動をしている。近くの公民館の大野サロンに毎月参加して地域の方との交流を積極的にはかっている。地域のボランティアを招いて敬老会を実施している。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	県立高校の福祉課程の実習生の受け入れを実施いたしました		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月ごとに開催しており、委員の皆様には自由な意見を述べてもらいサービスの向上に活かせるように努めております。	地域包括支援センター職員・民生委員・在宅支援センター職員などの参加を得て、消防訓練などホームからの連絡事項・行事やホームの現状報告などを議題として、2ヶ月に一度定期的に開催している。地域の行事へのお誘いや地域ネットワーク作りなどのご意見をサービス向上へ繋げるよう努めている。	更に身近な地域の方やご家族などの参加を工夫されることも期待したい。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	昨年は、感染性胃腸炎が発生し介護保険課・健康保険センターの協力・指導を頂きました。	運営推進会議議事録や各種書類は直接必ず届けるようにして担当者との接点を密にしている。成年後見人の件や感染症発生時などの確な助言や協力をして頂ける関係が築けている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ホーム内研修を行い、全職員の理解を深め身体拘束をしないケアに取り組んでおります。	ホーム内の研修で身体的だけでなく言葉による身体拘束も含めて、禁止の対象となる具体的な行為等の職員理解を深めている。「身体拘束排除宣言」を掲示し、身体拘束をしなくても済むケアを実践している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム内研修を行い、全職員が虐待防止に向けて努めております。  1/8		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現状で、成年後見制度利用に向けて進行中です。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約の際には、ご来荘いただき、書面と口頭で十分な説明を行っております。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様と職員の日々の交流や、事務所に運営適正委員会の案内を提示し、意見・要望を表せるように努めております。	入居者の意見は日々の生活の中で、また、家族来訪時にご家族の意見等を積極的に聴くようにしている。ご家族自らの相談をよく受けるとのことである。事務所に運営適正委員会の案内を掲示し、外部にも意見要望を言ってもらえることを話している。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員との日々の交流やミーティングなどで意見や提案を聞く機会を設けております。	フロアーミーティング時に職員の意見要望などを出し合っている。特にシフトや時間帯別の業務など、職員意見が良く反映されている。外部研修受講は出勤・交通費・研修費も支給する等、職員育成とモチベーションの向上に力を入れている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	介護職員の処遇改善交付金やキャリアパスなどを活用し、職場環境・条件の整備等に努めております。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内研修を実施し、また、必要に応じて県・市・協会等で行う研修に参加できるように努めております。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国グループホーム協会や県内の協会に加入し、情報収集及び交流を行いホーム内の研修に活用しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご入居前の昼食会の時点から信頼関係づくりに努め、ご入居後は不安にならない様な環境づくりやコミュニケーション取り、訴えがあった時はお話を聞きし、またはお気持ちを汲み取り安心を確保するための関係づくりに努めております。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご相談時から時間の許す限りコミュニケーションを取り、ご家族が困っている事、不安な事、要望等を共に考えながら安心を確保する関係づくりに努めております。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人の心身状態を把握し、今何が出来るか・何が出来ているか・何をしたいかを確認しながら機能が維持出来る支援に努めております。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者様との共同生活の場であることを、常に念頭に置き出来る限り作業を共にしております。</p>		
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>今の症状の段階を理解出来る様に支援をして共にご本人を支えて行く体制を取っております。</p>		
20	(8)	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>毎月の写真付き支援経過に記載し、ご家族に伝えております。また、入居者様宛てに年賀状や郵便物等も届きます。</p>	<p>昔の恋人が訪ねてきたり、元の会社の同僚が永年勤続の花束を届けに来たり、ご家族と懐かしい場所への旅行をしたり、毎月行きなれた所へ家族と昼食に行く入居者など、馴染みの関係が途切れないよう支援している。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者様同士が一緒に出来る作業・レクレーションを、職員が輪の中に入り孤立のないように努めております。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も、ご家族様からの相談があればその事に対して出来るだけの支援をしております。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の言動や生活の様子を観察し、思いや意向の把握に努めております。	家族から聞き取るとともに相談している。入居者の不安を取り除き、ここでの生活を安心しておくことができるよう、日頃の和やかな雰囲気の中での会話をケース記録に残し、入居者の希望や思いを把握している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や担当ケアマネジャーから情報を努めており、また、ご入居後はご本人様・ご家族様とのコミュニケーションからも把握に努めております。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルチェック・表情・言動・食事・水分摂取量・等で把握し、日々の過ごし方については、意思を確認し入居者様のペースを尊重しております。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様・ご家族様からの要望も反映させながら、介護主任が中心となり柔軟に介護計画を作成しております。	毎月のリーダーミーティングにて全入居者について話し合い、全職員が議事録に目を通すことで情報を共有している。ケアマネジャーが介護職員に入居者の現状を聞き、主任とケアマネジャーで協議した後モニタリングとしてまとめている。ケアマネジャーは家族からも聞きとりを行い、意向を反映させたプランを作成している。現場がよい介護をするためのサポート役としてケアマネジャーを捉え、プラン作成にあたっている。	介護計画の全職員での共有とモニタリングへの介護職員の参加を更に工夫されることを期待したい。
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画に添ったケアの実践・結果・状態の変化等を記録し、情報を共有しながら計画の見直しに努めております。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	介護計画に添ったケアの実践・結果・状態の変化等を記録し、情報を共有しながら計画の見直しに努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会のクリーン作戦や、地域交流会・消防訓練等の参加で入居者様が心身の力を発揮しながら、安全で豊かな暮らしを営むことが出来る様に支援しております。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関から毎月の往診があり、受診結果はケース記録に記載して、職員間で情報を共有しご家族にも報告しております。	かかりつけ医は家族が選択しており、入居前からのかかりつけ医を受診している方もいる。かかりつけ医の受診は家族の同行となり、ケース記録の控え、バイタル情報を家族に渡している。受診内容は口頭で確認しケース記録と連絡ノートにより職員間で情報を共有している。職員が受診に同行した際には、受診結果報告書を記入している。二名の医師が往診してくれている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職は居りませんが、有資格者の主任を中心として職員全員が入居者様の状態を把握し、状態の変化に早期対応を出来る様にしております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご入院の際は、担当医・ナースまたは、ご家族様の希望を得ながら情報交換をし早期退院に努めております。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	出来る限りの支援をして行く方針ですが、医療対応が大きくなった場合は困難なこともありますので、医療系の施設に託す考えを入居相談時に説明し理解を得ております。	医療連携加算をとっていない現状をご家族に説明している。食事が摂れなくなる、常時の医療が必要となった時には入院となっている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故報告書・ひやりはつとに記録し、常に事故防止に努めております。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間想定を含めた消防避難訓練を、市川市消防局の協力を得て行っております。	訓練には新人職員が参加できるよう取り組み、同ビルのテナントと一緒に大家も参加して防災訓練を行った。スプリンクラー設置済みで、各種設備の点検も行っている。セコムサービスを契約しており、非常時にはセコムから1名がかけつける。夜間非常時には10分以内に職員が2名かけつけることが可能。備蓄は三日分、市の防災会議にも出席した。震災後には居室の大きな仏壇など危険と思われるものを持ち帰ってもらった。非常用の照明装置設置に向けて協議中である。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の尊厳とプライバシー保護については、指導を徹底し認識を深めております。	基本は敬語を使用しており、トイレへの誘導や言葉遣いに気を付けている。親しみ感じるような呼称に関しては家族に確認してから使用している。洗濯もの(特に下着類)はそれぞれ入居者自身にたたんでもらうことによりプライバシーを守るよう取り組んでいる。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の希望に応じて、ご自身で決定出来る様にしております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々に合わせたペースを保つ支援を行うように努めております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節や行事または気温に合わせ、入居者様の好みを取り入れ支援をしております。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	行事食や、月1回の入居者様の希望するお好み食を実施し食事を楽しむ支援をしています。	誕生会には手作りおやつやケーキを作っている。2カ月に一度の行事食と、月に一度のお好み食の日があり、お好み食は三食分をメニューから選択して楽しんでもらう。土曜日はパン食としている。きざみ食の方も、目の前でその都度一口大にして対応している。食器拭き、下膳、テーブル拭きは入居者もやっている。家族と外食に行く方もいる。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量・水分摂取量については、全入居者様の記録をしております。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯磨き・うがいなどが十分に出来ない入居者様は、職員が支援を行い清潔になるように努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用しながら、習慣や傾向を把握し尊厳に配慮をしながら誘導を行っています。	立位をとれない方のみが日中もおむつを使用。時間や本人のしぐさでトイレ誘導することで、排泄をトイレでするものと認識され、入居時にリハパンで排尿していた方が、トイレで排泄できるようになったケースもある。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分・運動・食物(牛乳・ヨーグルト等)などで、入居者様個々に応じた予防に努めております。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴前にはバイタルチェックを行い、入浴剤などを使用して楽しんで頂ける様に努めております。	週に2~4回入浴し、午後の入浴希望が多い。ゆず湯など楽しむ機会あり。希望する人には入浴剤を使用している。個人で揃えた石鹸類を使用の方もいる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の軽い運動や作業・散歩などで体を動かし、安眠が出来る様に支援を行っています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬のないように、準備の段階から服薬まで3人の職員がチェックをするようにしております。また、薬の用法は処方箋を見て確認をしております。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様には、各々の作業の分担を決めて、気分転換と活気が出るように支援を行っています。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	気候の良い時は必ず散歩に外出いたします。又、明青展や公園などにも車で出ております。	バラや菖蒲などを見に年に2~3回にかけている。冬は寒さのため外出したがらないが、ベランダの花の鉢を一人ずつ管理してもらうことによって外気にあたる機会を作っている。春から秋にかけては、日向ぼっこも含めて毎日のように外に出ている。夏には暑い時間を避けて朝と夕方に外出している。散歩は4コースあり、2分~30分でまわれるようになっている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理が出来る方は、小額の金額をご家族に相談の上管理しながら、散歩の時など欲しい物を買うなどの支援を行っております。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援を行っております。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様と職員が共同制作した、ちぎり絵や貼り絵などをリビングに飾り家庭的で温かい雰囲気的空間にしています。	フロアは明るくするよう心がけている。食事の時にはテレビを消している。エレベーターホールには観葉植物が置かれ、ベランダには各利用者が担当する鉢植えがある。廊下には写真や入居者が制作した作品が飾っており、廊下の先の出窓前にはイスが置かれ、外を眺めることができるようになっている。3階では事務所を開放することもある。夜間もフロアとトイレは暖かくしている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングなどで、入居者様同士で日向ぼっこや雑談、または、音楽などを聴いて自由に過ごされております。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の使い慣れている品物や大事にしている物、または、ご本人が希望した物を居室に取り入れております。	入口にネームプレートを設置している。全室和室で、押し入れもある。持参されたものとしては、テレビ、イス、チェスト、仏壇、お位牌などがある。布団使用の方や、カーペット敷きの部屋、転倒しないように居室に何も置かない部屋もある。居室は入居者と職員が一緒に掃除し、本人が希望すれば模様替えも手伝う。防災の観点から背の高いものを部屋に置かないようにし危険と思われるものは持ち帰ってもらった。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	天候により散歩が出来ない日には、廊下を利用して歩行したり手摺りを使い運動をしております。居室やトイレなどに表示をして自立支援に努めております。		